

1 【 仙台市立 立 町 小 学 校 】

仙台市立 立町小学校

校 歌

土井 晚翠 作詞
田村 虎藏 作曲

一、 仰げば高し天守台

俯せば流れも広瀬川

桜が岡にとり合う

ゆかしき庭に今立てる

校は開きし古の

その立町の名を変えず

二、 桜ほまれの花薫る

わが行く末もしかあれや

仰ぐ昔の跡もよし

清きはかげか我が心

努めて倦まず身をたてて

国と民のためつくせ

立町小学校は、明治6年7月7日、第7番小学校として開校し、明治9年からは「琢玉小学校」と称しました。明治12年に「立町小学校」と改称しましたが、「玉不琢不成器（玉みがかざれば器をなさず）」の向学心を受け継いできています。土井晚翠先生もこの立町小学校で学びました。

平成15年には、先生の偉業の一端を知ることができる「土井晚翠校歌資料室」ができあがりました。是非お立ち寄りください。

立町小学校の校歌は、大正14年につくっていただき、機会あるごとにいつも心を込めて歌っています。歌詞の最後に「努めて倦まず身を立てて、国と民のためつくせ」という言葉がありますが、晚翠先生が立町小学校の児童に託した強い想いを感じることができます。そんな晚翠先生の想いを汲みながら立町小学校の校歌を歌います。どうぞお聞きください。